

令和4年7月21日

山口県教育委員会会議議案

山口県教育委員会

令和4年度山口県文書館研究員（歴史）採用選考試験

募集案内(令和5年度採用予定)

令和 4年 7月
山口県教育委員会

今後の新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況等によっては、実施内容の変更（試験の延期・試験会場の変更等）を行う場合があります。

変更がある場合は、山口県ホームページの「募集・試験案内」においてお知らせしますので、必ず確認をしてください。

また、第1次選考（書類審査）合格者については、選考結果をお知らせする通知に、第2次選考における留意事項（マスク着用の有無等）が記載されていますので、必ず確認の上、試験会場へお越しください。

1 職種、専門分野、採用予定人員及び職務内容等

職種	研究員（歴史）
専門分野	日本史
採用予定人員	1名程度
職務内容等	山口県文書館、山口県立山口博物館、山口県知事部局（主に観光スポーツ文化部文化振興課）等において、歴史に関する調査研究業務その他の行政事務に従事します。 ○歴史資料（文献、史料）等に関する調査研究、資料収集・整理、展示、教育普及、研究発表、資料の利用に関する助言等 ○文化財（古文書等）の調査、保存・活用 ○その他、文化財行政に関すること

2 採用予定日 令和5年4月1日

3 応募資格

(1) 次のいずれにも該当する者が応募できます。

- ア 昭和53年（1978年）4月2日以降に生まれた者
- イ 大学又は大学院で日本史を専攻又は研究した者で、大学院の修士課程修了（令和5年3月31日までに修了見込みの者を含む。）又は、同等の研究経験・実務経験を有する者

(2) 上記（1）にかかわらず、次のいずれかに該当する者は応募できません。

- ア 日本国籍を有しない者
- イ 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
- ウ 山口県において懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
- エ 日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者
- オ 平成11年改正前の民法の規定による準禁治産の宣告を受けている者（心身耗弱を原因とするもの以外）

4 選考方法

- (1) 第1次選考 令和4年9月中旬に書類選考を行います。
選考結果は、合否にかかわらず応募者全員に通知します。

区分	配点	審査内容
書類審査	270点	提出された職務等経歴書等に基づき、書類審査を行います。

- (2) 第2次選考 第1次選考合格者について、令和4年10月23日(日)に行います。
試験会場は、以下のとおりです。
山口県山口市滝町1-1 山口県庁本館棟14階 教育庁教育委員会室等
最終合格者の発表時期は、11月下旬を予定しています。

区分	配点	試験内容
面接試験Ⅰ	250点	人物について総合的に評定するため、個別面接を行います。

※各選考において一定の基準に満たない場合は不合格となります。

【採用時の職位の審査（実務経験が7年以上かつ30歳以上の者が対象）】

区分	試験内容
面接試験Ⅱ	事前に提出された職務等経歴書等に基づき、試験官による質疑応答を行います。

5 応募手続

- (1) 応募書類の請求

応募に必要な書類は、山口県教育庁教育政策課（〒753-8501 山口県山口市滝町1番1号）に請求してください。山口県教育委員会のホームページからダウンロードすることもできます。

郵便で請求する場合は、封筒の表に「文書館研究員応募書類請求」と朱書きし、住所、氏名及び郵便番号を明記し、140円分の切手を貼った返信用封筒（角形2号：縦33cm、横24cm程度の大きさ）を必ず同封してください。

- (2) 提出書類

ア 職務等経歴書（別紙様式1）

イ 最終学校卒業（見込）証明書

大学院修了（見込）者は、大学の卒業証明書も添付してください。

ウ 最終学校成績証明書（全学年記入のもの）

大学院修了（見込）者は、大学の成績証明書も添付してください。

エ 研究調査業績調書（別紙様式2）

オ 古文書の調査・整理に関する主な経歴（別紙様式3）

従事期間、文書名、調査・整理主体、従事職種、業務内容等を記載してください。

カ 展示・講座に関する主な経歴（別紙様式4）

従事期間、展示企画展名・講座名、展示内容・講座内容、実施機関名、従事職種、業務内容等を記載してください。

キ 添付するもの

・主要な業績（修士論文又はこれに相当するもの）の原本又はその写し

（2点以内）

・原本又はその写しを提出する主要な業績のうち、1点の要約（4000字以内）

(3) 提出方法

受付期間	令和4年7月27日(水)から令和4年8月31日(水)まで
提出方法	上記提出書類に必要事項を記入し、下記提出先へ郵送してください。 郵送にあたっては、封筒の表に「研究員採用応募書類在中」と朱書きし、必ず特定記録郵便等の確実な方法により送付してください。 令和4年8月31日(水)までの消印のあるものは有効とします。
提出先	山口県教育庁教育政策課 〒753-8501 山口県山口市滝町1番1号

(4) その他

応募書類は返却しませんので、御注意ください。

6 採用後の任用

- (1) 採用後は、原則として一般職の研究員もしくは学芸員、又は文化財保護主事としての任用になります。
- (2) 研究員もしくは学芸員としての実務経験が、7年以上かつ30歳以上の方については、別途、職務等経歴書等及び面接試験Ⅱに基づき、より上位の職位での格付け(専門研究員、主任級研究員もしくは専門学芸員、主任級学芸員、又は主任主事級文化財専門員、主任級文化財専門員)について審査を行います。

7 給与初任給は、各人の経歴によって異なりますが、おおむね下表のとおりです。

(令和4年4月現在)

区分	勤務地	初任給
○文化財保護主事 (24歳で採用の場合)	観光スポーツ文化部 文化振興課	201,200円
○研究員・学芸員 (24歳で採用の場合)	文書館(研究員) 博物館(学芸員)	209,800円
○主任主事級文化財専門員 (30歳で採用の場合)	観光スポーツ文化部 文化振興課	246,600円
○主任主事級専門研究員 主任主事級専門学芸員 (30歳で採用の場合)	文書館(専門研究員) 博物館(専門学芸員)	266,600円
○主任級文化財専門員 (40歳で採用の場合)	観光スポーツ文化部 文化振興課	289,000円
○主任級専門研究員 主任級専門学芸員 (40歳で採用の場合)	文書館(専門研究員) 博物館(専門学芸員)	313,900円

このほか、扶養手当、住居手当、通勤手当、時間外勤務手当、期末手当、勤勉手当等の諸手当がそれぞれ支給要件に応じて支給されます。

8 選考結果の開示

- (1) この選考の結果については、山口県個人情報保護条例第19条の規定により、下表に基づき、口頭による開示の申出をすることができます。

選考	開示申出ができる者	開示内容	開示期間	開示場所
第1次選考	受験者	得点及び順位	各選考の合格発表日から1年間	山口県教育庁教育政策課 (山口県庁本館棟 14階)
第2次選考				

- (2) 電話、ハガキ等による開示の申出はできません。
- (3) 開示を申し出る場合は、運転免許証など本人確認ができるものを持参のうえ、開庁日（土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律に規定する休日を除く）の午前8時30分から午後5時15分までに、本人が直接開示場所へおいでください。

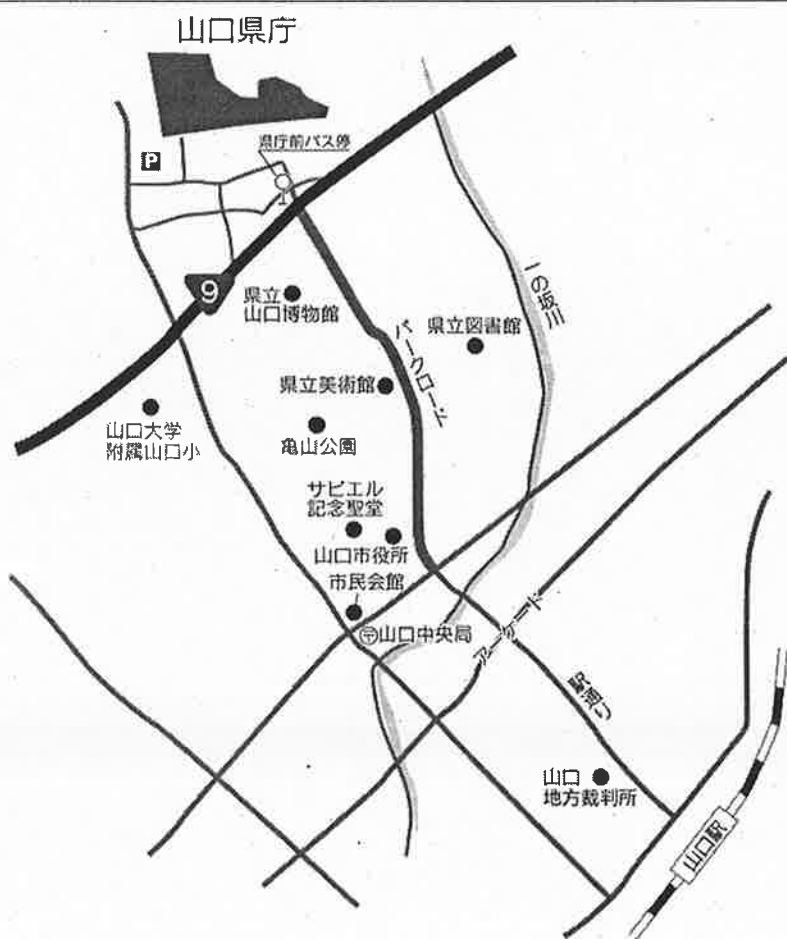
9 お問い合わせ先

山口県教育庁教育政策課

〒753-8501 山口県山口市滝町1番1号

電話 083-933-4521

試験会場案内図



*交通案内

- ◆公共交通機関（飛行機・列車・バス）
 - ・「山口宇部空港」から（バス）※直通なし（以降は「JR新山口駅から」参照）
新山口駅行きのバスで約30分、「新山口駅」下車
 - ・「山口宇部空港」から（電車）※直通なし（以降は「JR新山口駅から」参照）
徒歩約8分（約0.6km）、「JR草江駅」からJR宇部線で約40分、「JR新山口駅」下車
 - ・「JR新山口駅」から（バス）
山口市街方面行きのバスで約40分、「県庁前」下車
 - ・「JR新山口駅」から（電車）
JR山口線で約23分、「JR山口駅」下車、徒歩約20分（約1.6km）
 - ・「JR山口駅」から（バス）
県庁前方面行きのバスで約5分、「県庁前」下車
- ◆車（中国自動車道）
 - ・「山口IC」から国道262号経由、（約6km）
 - ・「小郡IC」から国道9号経由、（約8km）

(様式1)

職務等経歴書

令和 年 月 日現在

写真貼付欄
(3.5cm×4.5cm)

最近6月以内に撮影のもの
上半身、正面向きの写真

ふりがな	性別
氏名	
生年月日 年 月 日生(満 歳)	
ふりがな	電話番号
(〒 -)	自宅 携帯
現住所	
ふりがな	電話番号
連絡先(現住所以外に連絡を希望する場合のみ記入)	
(〒 -)	

学歴

年	月	学歴
		高等学校卒業

職歴等(職歴及び業務内容等を記入してください。)

年	月	職歴等
	月から 月まで	
	月から 月まで	
	月から 月まで	
	月から 月まで	
	月から 月まで	
	月から 月まで	

年	月	職 歴 等
	月から 月まで	
	月から 月まで	
	月から 月まで	
	月から 月まで	
	月から 月まで	

免許・資格等

年	月	免 許 ・ 資 格 等

志望動機等

私は、募集案内に掲げてある応募資格をすべて満たしており、また、この職務等経歴書のすべての記載内容は事実と相違ありません。

令和 年 月 日

応募者氏名
(自 署)

(様式2)

氏名 _____

研究調査業績調書

主な論文、報告書等の執筆・参画歴

○印	題名	内容(20字×10行)	担当部分	発表の時期 及び方法

○印	題 名	内容 (20字×10行)	担当部分	発表の時期 及び方法

*記入欄が不足する場合は継紙により記入してください。

*記入方法

研究調査業績の記入は次の区分順序とし、同一事項のものについては年代順に記入してください。

(1) 修士論文等 (卒業論文・修士論文・博士論文を明示してください)

(2) 著書 (単著・共著・編著を明示してください) (3) 論文 (学会誌・論文集等に発表したもの)

(4) 研究調査報告

(5) 口頭発表

*内容欄は、200字以内で記載してください。

*担当部分欄は、分担した内容 (文章執筆、図面作成等) を記載してください。

*研究調査業績で代表的なもの2件に○印をつけてください。

(様式3)

氏名 _____

古文書の調査・整理に関する主な経歴

	従事期間	文書名（文書の主たる時代／内容）	調査・整理主体	従事の職種	業務内容
記入例	令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	〇〇家文書（〇〇時代/武家文書、庄屋文書等）	〇〇県〇〇市（自治体史・教育委員会）、博物館・文書館、〇〇大学	担当職員（正職員、臨時職員）、補助員、アルバイト、学生等	整理補助、文書整理、目録編成、解題・報告書執筆

展示・講座に関する主な経歴

	従事期間	・展示企画展名 ・講座名	・展示の内容 ・講座の内容	実施機関名	従事の 職種	業務内容
記入例	令和3年8月 約2週間	・〇〇展 ・△△講座	・〇〇に関する 古文書を展示 ・講師として△ △を解説	〇〇文書館、〇〇郷土 資料館、〇〇博物館、 〇〇大学〇〇学部〇〇 研究室等	学芸員・研究 員、補助員、 アルバイト等	・展示、企画、 図録作成等 ・講座の企画・ 運営・講師等

